

4 月度研究会開催！

支部長 武田

去る4月24日土曜日に、99年初めての教育研究会が開催されました。参加者には、遠く関東支部から玉川学園の多賀先生、中村先生、清水先生、溝口先生の4名が、また久しぶりのえりも岬から小松先生、滝川から吉田あきら先生、アフリカ帰りのマディマティカル・アーティスト宮下先生が参加されました。さらに、ネットワークを通じて福島女子短大の酒井先生、標茶中のジョージ村田先生も登場され、総勢22名となりました。

今回のテーマは、「子どもの顔と顔が見える！何が出来る？！映像を使ったネットワーク・コラボレイティブ・エデュケーション」ということで、ネットワーク上での映像によるコミュニケーションやアプリケーションの共有などについて実践的に活用することに重点がおかれた研究会となりました。玉川学園の清水先生から、子どもと家庭、先生が一体となって作り上げている CHaTNet の取り組みについてお話をいただきました。現在45パーセントの家庭がこれに加入して、学校や家庭間での情報交換を行って、より緊密な指導体制を実現しているとのこと。また、海外の姉妹校との間で、環境教育などを通じてのネットワーク・コラボレーションしている実践についても紹介があり、さらに、オーストラリアを縦断するエコカーレースへの準備にも取り組んでいるとのこと、ますます盛り上がっている玉川学園のパワーが伝わってきたご発表でした。

====ここから、議事文責・吉田====
【清水先生】チャットネットについて（パンフあり）

ワールドソーラーカーレースというのがありますが、これに玉川が参加するプロジェクトがある。3000キロを走るだけでなく、授業の取り組みをやってみようという取り組みがある。本田技研とかトヨタとかが参入しているレースなので、順位とかそういったことではなくて、子供たちの交流のようなものをメインに据えて



清水先生。久々の札幌ご登場です。

やっといこうと考えている。

FCIS というのがあって、学生と親、全体3500人が入っているネットワークとして機能している。学校の様子や取り組みなどがネット上で公開されている。4つのサーバで構築されているが、

お互いにゲートウェイしている。

チャットネットとは Children and Teachers Network の略で、保護者に常に教育の現場を公開し、ともに教育を考えていく、ということ为前提に考えている。海外との交流も行っており、学生が英語でメールのやりとりなどを行っている。月に一度、テレビ会議などを通じて海外の様々な学校と交流をしていきたいと考えている。そういった成果は逐一Webを構築して公開するようにしている。

遅刻や欠席の連絡等もフォームで送付できるようになっているし、購買部ではオンラインショッピングも可能だ。学校の告知は



真剣な眼差しで聞いてます。CHaT Netってでかいわー。

なるべくネットに流し Web にするように心がけている。

様々な活動の中で、FCISが一番使えろと判断して始まったわけだが、決して強制で加入するわけではない状況だが、やはり子供も親も様々な環境の中で大きく変わりつつある。

リアルタイムの学習からどこにいてもどんなときもできる学習を目指している中で、こういった環境がそういった可能性を実現する部分がある。

このあたりのことを8月のPOEMで実際に見ていただけると考えている。

質疑

- - - 親の設備投資は？

それぞれの環境による。電話によるサポート等も、企業と協力して割引価格で提供している。MacでもWindowsでもどちらでも構わない。

- - - テレビ会議はどうやっているか

費用は交互に負担している。時差は日本のローカルタイムに準拠してお願いしている。ピクチャーテルの技術は年々上がっていて、INS一本でバルク128kだが、細い回線でも高いクオリティで通信できている。やりとりは基本的に英語でやっている。

総合学習の現場から出てきたテーマをメールなどで普段からやりとりし、それを元に話題づくりをする。

先進的な取り組みだとは考えているが、まだまだ足りない部分もある。どんどん様々な要素の意見を取り入れていきたいと考えているので、皆さんよろしく願います。

====ここまで議事文責・吉田====

続いて、社会教育総合センター社会教育主査の桜庭先生から、

リアルビデオ中継の仕掛けや仕組みについて説明がありました。エンコードにあたって実践しているからこそわかる情報もご紹介いただきました。また、ネットミーティングと CuSeeMe を活用し



桜庭さん、Real中継はやはり慣れもさることながら、ちょっとしたテク？

てのネット会議について、実践してみました。福島女子短大の酒井先生や標茶のジョージも参加してくれて、PHSからのアクセスの場合の状況などについても確認することができました。また、アプリケーションの共有も行いました。CGソフトなどを共有し、子どもたちによるコラボレーション環境について確認し、その実践活用上の問題点などについて話し合いました。

====ここから、議事文責・吉田====
ども。

簡単なくみです。マシンのスペックはNTで、といわれていたが、95でペンチだとだいたい出来てしまう。G2が出てきたが、不具合が出ると困るので、そのままやっている。マシンもノートでやってしまっている。掲示板をもうけて、なにかしら中継しているときはユーザに状況を書いてもらう。変化が出ないとつまらないので、自分が動いたり、カメラを動かしてみたりすると、見る側も面白い。

外から送り込むことも出来るし、ローカルで動かすこともできる。サーバは常に動かしているので、お貸ししたりもしている。OCNスタンダード1.5MBなので同時20クライアント程度はログイン可能だ。

普通にカメラを使ったりすると、どうしても音声が高すぎるので小型のマイクミキサーを用意したりして、気を使ってやるとクオリティが上がる。

デスクトップオンコールというのがあって、IPを打つと相手の画面がブラウザ経由で操作できる。WindowsからでもMacからでも何でもいける。ただ、動作が重いので、用途は限定される。

PC anywhereというのもあって、そういう操作が可能だ。これは入ってくる側とローカル側操作の優先度合いを決めて操作できる。

====ここまで議事文責・吉田====

198,000円という価格で発表された映像サーバのセッティングについて武田が紹介しました。シリアルケーブルで、IPアドレスやネットマスクなどを指定すると、後は、ブラウザ画面で簡単に設定できる Web Image Server で、音声はでないものの2台のカメラや雲台などを遠隔操作できるという代物で、動物などの観察や2台を双方にセットしてクリアな映像でコミュニケーションする可能性などについて話し合いました。

休憩を入れて、本年度のバーチャル雪まつりの取り組みの準備について話し合い、北田さんから札幌エレクトロニクスセンターでの教育向けプロキシサーバの構築や市民による情報交換環境

の整備に関する研究の紹介を頂き、ACEとの協力関係の可能性について情報交換しました。

====ここから、議事文責・吉田====

【エレセン北田】

プロキシの研究開発

大きなプロキシを動かし、ファイルの先読みなどを試みている。これだけだと面白くないので、複数のバックボーンを運用して、ネットワーク的に近い選択をするとかメールの内容文を分析してURLがあれば先読みをしにいくような仕組みを動かしている。非常に快適な仕組みで、ちょっとカーネルを悪戯するだけで動いているのでもう少しすれば要素技術を公開できるだろう。

レーティングサーバ

ACEでもやっているが、ブラックリスト方式のレーティングを試みている。更にキーワードと条件式を用意して、Pageが表示されてその中にそういったキーワードが含まれているとその時点でダメを出すような仕組みになっている。その結果もブラックリストに追加されるようになっていく。更に、各プロキシで出したブラックリストを吸い上げてマージするような仕組みを構築した。逆に言うとこれはホワイトリストとしても運用できるわけで、必



久しぶりにCU-seemeしてみました。64Kだと結構いいかも。

要なキーワードを教え込んでいくことで、必要なファイルを蓄積するような形にしてゆける。これは分散処理型の検索エンジンとして機能することが出来る。

情報入力手段

手書きの文字と写真を定型の書式に記入してもらうと、それをOCRしてWebに掲載するような仕組みを考えている。これから開発していきたい。

====ここまで議事文責・吉田====

いつものとおり、あっという間の3時間がすぎ、大急ぎで片付けて、近くの「満とり」3階へと一同移動し、更に大大宴会で盛り上がったのでした。更に大通り公園を抜けて2次会へと行ったけど一軒断られて、更に歩き、無理矢理別のお客によけられて席を作ってもらってグレープフルーツを絞って焼酎飲んで、鍋まで食べて、さらに近づいたススキノ手前の店でサンバの音楽を聴こうとしたのに何故か日本酒を一升のんで、もうその後は、よく覚えていないので...うい！、ごめんなさいね...・

参加者：武田、青柳、吉田あきら、高橋、大橋、野口、溝口、中村、由水、多賀、宮下、吉田哲也、荒島、清水、半澤、桜庭、北田、小松、高本、見澤、ジョージ、酒井。(22名)

【関連のURL】

玉川学園：<http://www.tamagawa.ac.jp/>

Netmeeting などダウンロード：<http://www.microsoft.com/>

msdownload/

かでの CuSeeMe リフレクタのアドレス : 210.162.171.5

研究会ライブ中継してました : <http://www.manabi.pref.hokkaido.jp/ace.html>

Web Image Server (横河 ADS) <http://www.yokogawa.co.jp/ADS/>

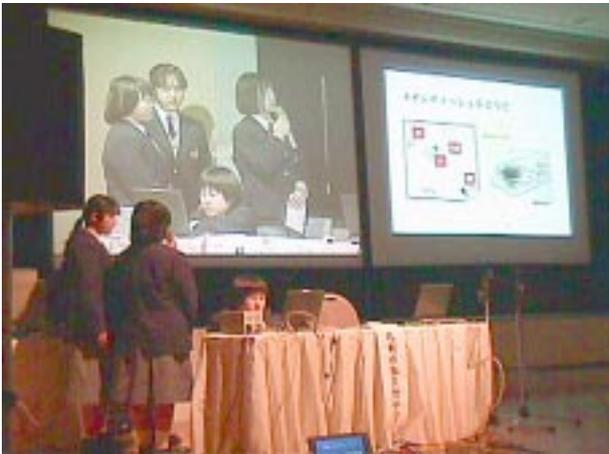
カメラ Q-Cam ソフトダウンロード : <http://www.logitech.com/us/products/index.html>

第6回マルチメディア・バトル開催決定!

事務局 青柳

子供たちが、日頃の授業や課外活動でマルチメディアやインターネットを活用して得られた成果を発表するコンテスト「マルチメディア・バトル」。ACE北海道では、これまで各種催事で発表の機会をいただき、このイベントを計5回にわたって開催してきました。今回、6月に札幌そごうデパートで行われる「北海道テレコムフェア」のメインステージをお借りして、1年半ぶりに第6回の「マルチメディア・バトル」を開催することが決定しました!

つきましては、バトルへの参加校を募集します。発表作品は、CG、ホームページ、DTM、ゲームなど、デジタルなものならジャンル・形態は問いません。また、対象年代もありません(これまで小学校低学年からお年寄りまでの参加がありました。世代を越えてデジタルセンスを競うのです)。札幌での開催ですが、遠隔地



前回、98年2月の際の様子です。今回も盛り上げていきましょう。

からの参加も多少の補助も考慮して歓迎します。この機会に子供たちにプレゼンテーションの場を提供してみませんか?参加のご希望、お問い合わせは事務局までどうぞ。(011-210-5506 aoyagi@hokkaido-np.co.jp)

第6回マルチメディア・バトル開催概要

主催:教育とコンピュータ利用研究会(ACE)北海道支部

日時:1999年6月11日(金) 14:00~16:00

会場:「北海道テレコムフェア'99」会場内メインステージ

(札幌市中央区北5条西2丁目 札幌そごうデパート9F 大催事場)

内容:学校におけるマルチメディアやインターネットを活用した成果の児童・生徒による発表会。各賞受賞者には賞品を授与。

参加校:小・中・高校、短大、大学、専門学校など5、6校

教育情報化推進指導者育成研修はじまる!

文部省平成11年度概算要求で出されていた、「教育情報化推進指導者養成研修」(予算規模5800万円)がはじまる。これは、小、中、高校においてコンピュータを活用した授業などが実施できる教員を飛躍的に増加させるため、教育委員会などで行う研修の核となる人材を養成するものである。期間10日間、25会場、対象人員1000人(指導主事、小、中、高校、特殊学校の現職教員等)

この事業は、「新しい学習指導要領では、各教科等や「総合的な学習の時間」におけるコンピュータや情報教育ネットワークを積極的に活用した学習活動の充実が求められている。このため、初等中等教育においては、情報化に推進に対応した教員の指導力向上を図るため、教育委員会等が実施する情報教育に関する研修において指導的役割を担える人材を育成する」のが目的である。

主催は、文部省、関係教育委員会、国立教育会館等。講座の種類等は開催する都道府県教育委員会に委ねられている。参加対象は、指導主事と現場教師のそれぞれのコースが開催される。

参加要件は

- ・「教育委員会が本研修の対象にふさわしいと判断する資質があること」
- ・「一般的なアプリケーションソフト(ワープロ、表計算、プレゼンテーションソフト、データベース)が扱えること」
- ・「コンピュータやネットワークに関して、初歩的な知識がある。または興味・関心がある」
- ・「教育用ソフトウエアやインターネットの教育利用に実践経験がある、または興味・関心が高いこと」

とされている。参加手続きは、教育委員会から推薦のあった者のうちから、文部省で決定し通知される。残念ながら、このNewsLetterが手元に届く頃にはすでに、各教育委員会への申請は締め切れているだろう。

さて、講座の内容は

「情報化社会と教育(情報化の方向性・情報化社会と教育)」、「情報教育を支える技術と課題」、「情報教育の内容理解」、「情報倫理とプライバシー」、「情報教育カリキュラムの作成」、「モデルカリキュラムの作成」、「OS、マルチメディア」、「校内ネットワークの基礎知識・校内ネットワークの設定(校内ネットワークの基礎知識・校内ネットワークの作成・校内ネットワークの運用管理の知識)」、「インターネット導入・ホームページの作成(インターネットの導入・ホームページの作成・グループ発表)」、「学習指導におけるコンピュータ・インターネットの役割」、「授業設計と教材作成」、「教材のプレゼンテーション」、「共同学習・交流授業」、「コンサルテーション」、「校内研修の進め方」、「校内研修案の作成」、「校内研修のまとめと課題」

となっている。(10日間コース)

参加者は1教育委員会あたり各校種1~2名と狭き門だが、学校を離れ久しぶりに本格的な研修に参加したい気持ちのある人にはうってつけかも。

ACE会員からもぜひこの講座に参加し、レポートされることを願いたい。

インターネット・バーチャル大学 (ICSU)

大学と小中高を結び先進的な実践をみせてくれたICEのメンバーが再び動きだしました。ICEでは各学校にインターネット接続の環境を設定し、それを使いながら遠隔学習を進めてきました。

これからは、宮下先生を中心にメディア・リテラシーのあり方を模索し、確立していく方向へと向かうようです。

インターネットの教育利用の考え方や方法、メディア・リテラシー育成など多くの方が参加してディスカッションできる場も用意されました。

メディア・リテラシー (ML) プロジェクトラウンジ

http://m.iwa.hokkyodai.ac.jp/icsu/index_j.phtml

から掲示板に入ることができます。たくさん書き込みをお待ちしています。

ICSUのメディア・リテラシーの概要は次のところで見ることができます。

メディアリテラシー (ML) 育成教育

http://m.iwa.hokkyodai.ac.jp/education/ml/index_j.html

インターネット・バーチャル大学の URL は、

http://m.iwa.hokkyodai.ac.jp/icsu/index_j.phtml

ここから「聴講生」の登録ができます。「聴講生になってバグレポート、モニターなどしていただけると、すごく感謝です」とのことです。

Cyber Patrol モニター募集！

株式会社アスキーから The Learning company 社が開発したインターネット・フィルタリング・プログラム「Cyber Patrol」の MAC 版が販売されることになりました。

このたび、この「Cyber Patrol for Mac 版」のベータ版を 30 名程の先生方に評価をしてほしいという依頼がアスキーから ACE にありました。

ACE 各支部で希望を募るので、希望多数の場合ははずれるかもしれません。モニター希望の方は支部事務局までご連絡ください。特に切の指定はありませんが、急いでいるようです。

このソフトの関連ページ

<http://www.cyberpatrol.solution.ne.jp/index.html>

編集後記

私の PDA 初体験は、あの Newton MessagePad 110。まだ日本に売っていないこの話題の PDA をホノルルでゲットしたのですが、手書き認識とアシスト機能、そして何より直感的な操作が魅力のすばらしいマシンでした。ですが、どんどんパソコンを使ったモバイルのほうが進化していったという事もあり、そういった「オモチャ」とはしばらくおつきあいしていませんでした。そこに突然現れたのが IBM WorkPad J。噂の Palm OS を搭載した、小気味いい仕上がり PDA です。最近これとノキアの赤外線モデム携帯 NM207 ですっかりワイヤレス通信にはまっています。この間ドコモの研究所にいる竹下さんと逢ったので、Palm と i モードを合体させてください、とお願いしておきました。明日は IBM の WorkPad 開発者のセミナーがあるので、同じ事をお願いしよう。(吉田)

4月の研究会に、約2年ぶりに岩教大の宮下先生がいらっしやいました。エジプトで仕事をされていたとのことで、顔は人間でも体はライオンになっていないかと心配していたのですが、どうや

ら尻尾も生えていないようで安心しました。・・・いや、変わらずお元気でした。岩教大は武田先生や荒島先生や蝦名さんの発祥の地、北海道支部のルーツです。北海道支部会員たるもの、4年に一度は巡礼をせねばなりません。というわけで、6月の研究会は岩見沢での開催の見込みです。詳しくは次号で。(青柳)

玉川学園ご一行様をお迎えしての4月研究会 & 大懇親会も無事に終わりました。秘密裏に開催した筈なのですが、20名を超える方がお集まり下さいました。本当にありがとうございました。次回は岩見沢を予定しています。「三船」あるいは「岩見沢ビール」でも行きますか。そうこうしている内に体育館は大型重機によってあっという間に解体され、コンピュータ室には新規のコンピュータが設置され、光ファイバーの到来を待ちかまえています。なんだか春の訪れと共に楽しい1年になりそうな予感です。(荒島)

玉川学園のお話を聞いて、触発されるものがありました。「日本は広い」じゃないけど、あんなふうに子供と学校とそして保護者とが、ネットワークで結ばれているってすごいなって思いました。なんか一つの先が見えたと言うか、確かな未来が見えたと言うか。ポエムでぜひ見たいです。きっと行けると思うのだけど。(高橋)

新学期も始まり忙しい毎日を送っていますが、やはり初々しい新入生を相手に授業するのは緊張しますが楽しいですよ～。授業の一言一言に反応する顔が、とってもイキイキしていてヨイですわ、、と云ってられるのもあと1・2週間なんだろうなあ。。。学生に飽きられないように楽しく充実した授業をしていかなきゃ！がんばりませう。(みさわ)

道都短大のマルチメディア教室の工事は6月には始まりそうです。シスコ・ネットワーク・アカデミーをはじめ、多彩な授業展開を予定しています。カラフルなiMacが入ることになっていますが、サーバーからのネットワークブートによる1元管理を計画しています。Mac OS X サーバの出来次第といえますが、実現できたら教室のメンテナンスが大変楽になるでしょう。実験結果については後に報告いたします。(由水)

最近Flashが楽しい。Photoshopも楽しい。MIDIデータ作るのも楽しい。そうそうキーボードの達人になるっていったんですけど、MIDI音源でいろいろ遊んでると人差し指でも十分面白いんで、ちっとも達人になっていく気配がありません。(野口)

新しい春が来た。希望の春だ！びかびかの1年生がまた入学してきた。胸一杯の夢を抱いて。一方、先生方はどうだろうか？僕たち大人は、このうらかな春を迎えて、目が覚めるような夢を膨らませているだろうか？僕たちに夢がなくて、どうして子どもに夢を抱かせられるようか？！さあ、大きく息を吸って～、両手を前から上へ～いち、に、さん、し！はい、深呼吸～、はい。では、また明日。皆さん、さようなら～！チャン、チャン、チャラン、チャンチャラチャンチャン！(武田)

教育とコンピュータ利用研究会 北海道支部

1999年4月27日発行

事務局：〒060-8711 北海道札幌市中央区大通西3-6

北海道新聞社 情報開発本部内(担当：青柳・吉田)

TEL 011-210-5801 FAX 011-210-5532